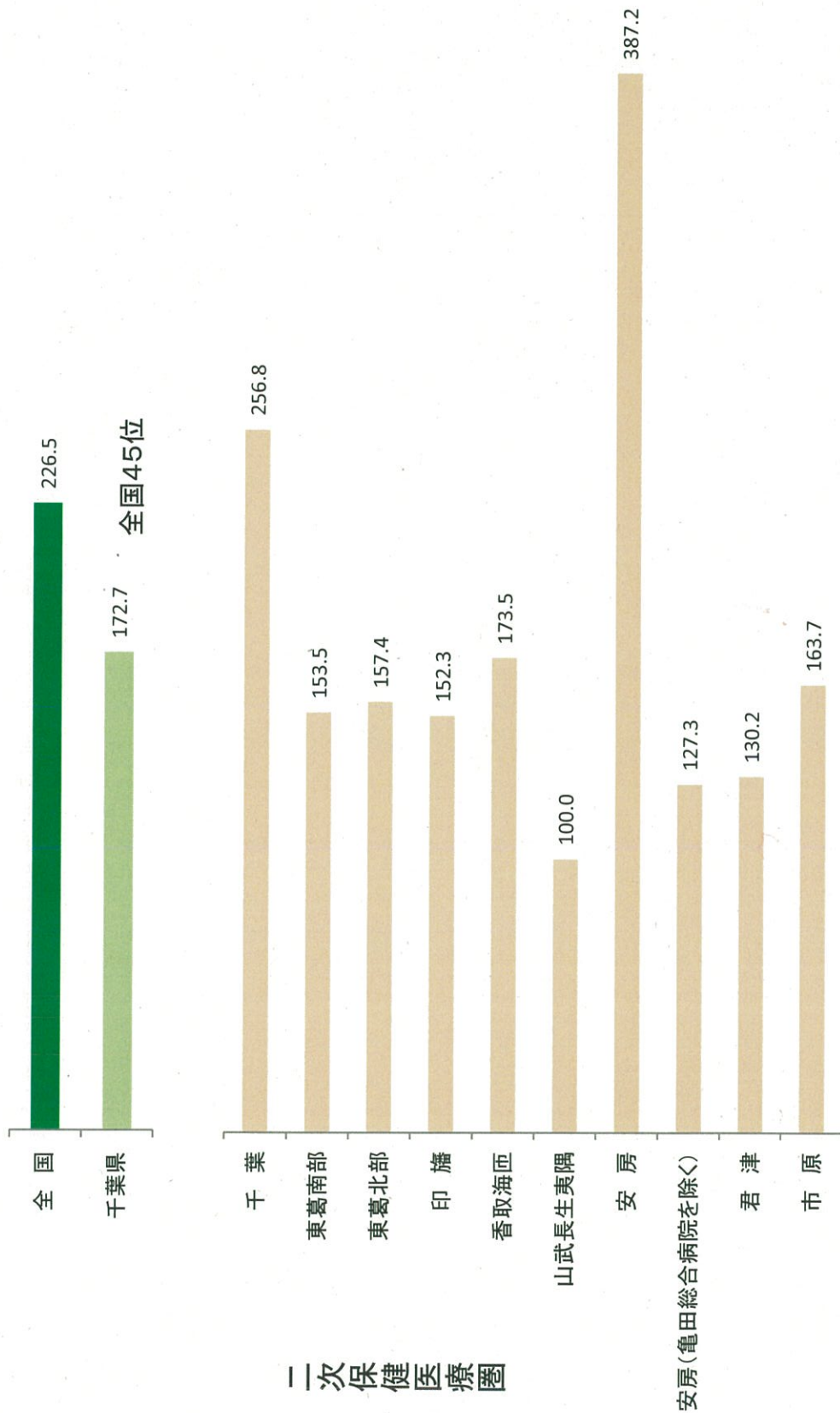


千葉県医師数について

参考資料

人口10万対医師数では、全国平均226.5人と、千葉県は172.7人と全国平均を大きく下回っている。県内の二次保健医療圏別に見た場合、人口10万対医師数が一番高いのは安房保健医療圏387.2人で、一番低いのは山武長生夷隅保健医療圏100.0人と、地域間の格差が生じている。

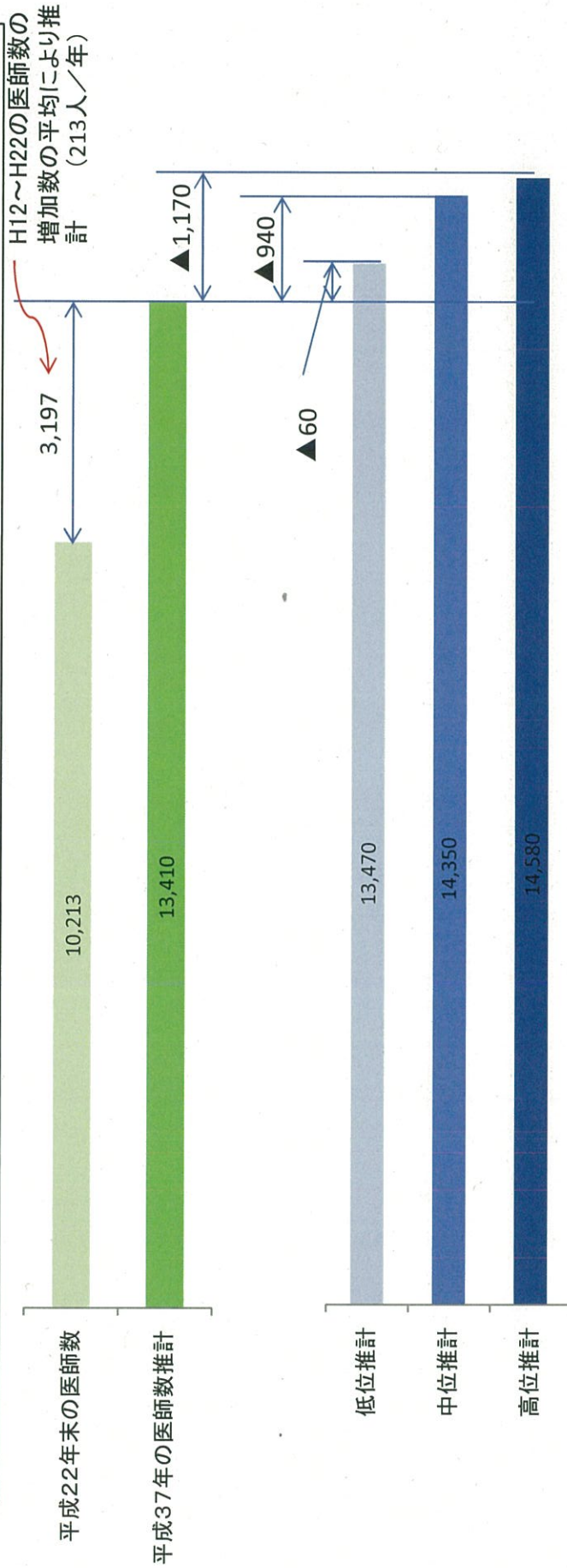


※人口10万対医療施設従事医師数

※出典:平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)

千葉県医師長期需要調査の結果について

推計の結果、平成37年に県内の医師数は60名から1,170名不足すると見込まれる。



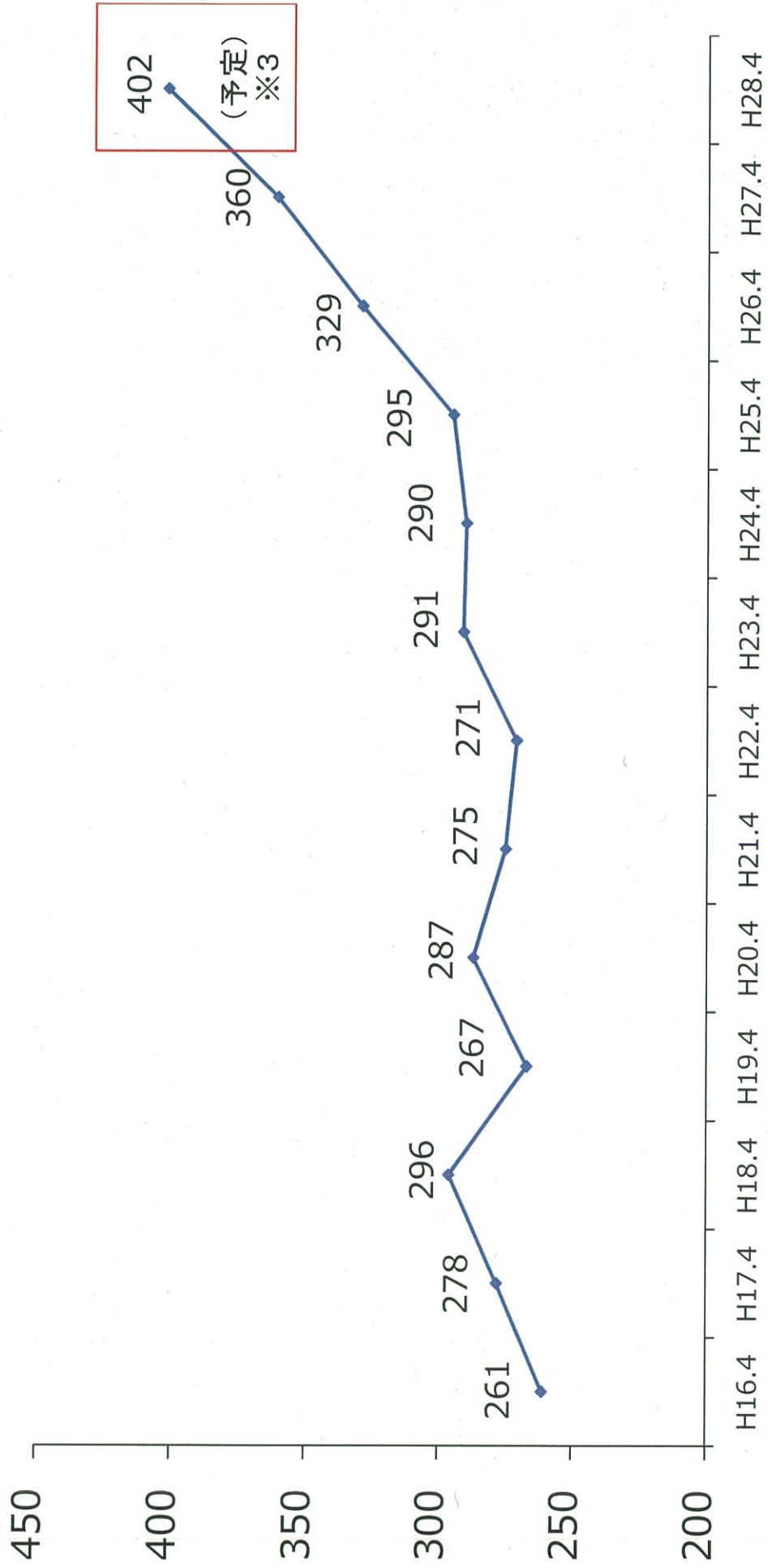
推計の考え方

$$\text{H37の患者見込み数} \div \frac{\text{H22時点の患者数}}{\text{H22時点の医師数}} = \text{必要医師数}$$

- ① 年齢階級毎の受療率が将来にわたり一定と仮定し、推計人口及び平成23年患者調査から平成37年の患者見込み数を算出
- ② 平成22年時点の医師と患者の比率(医師1人あたり患者数)を算出
- ③ ①を②で除し、平成37年の必要医師数を推計した。(低位推計)
- ④ また、現場における医師の不足感を踏まえ、厚生労働省が平成22年に実施した「必要医師数実態調査」における不足医師数を加味した推計も行った。
 - ア 低位推計…不足医師数を加味しない
 - イ 中位推計…不足医師数として、H22年の「必要求人医師数(640人)を加味
 - ウ 高位推計…不足医師数として、H22年の「必要求人医師数」と「必要非求人医師数」の合計(804人)を加味

千葉県内の初期研修医採用者数の推移

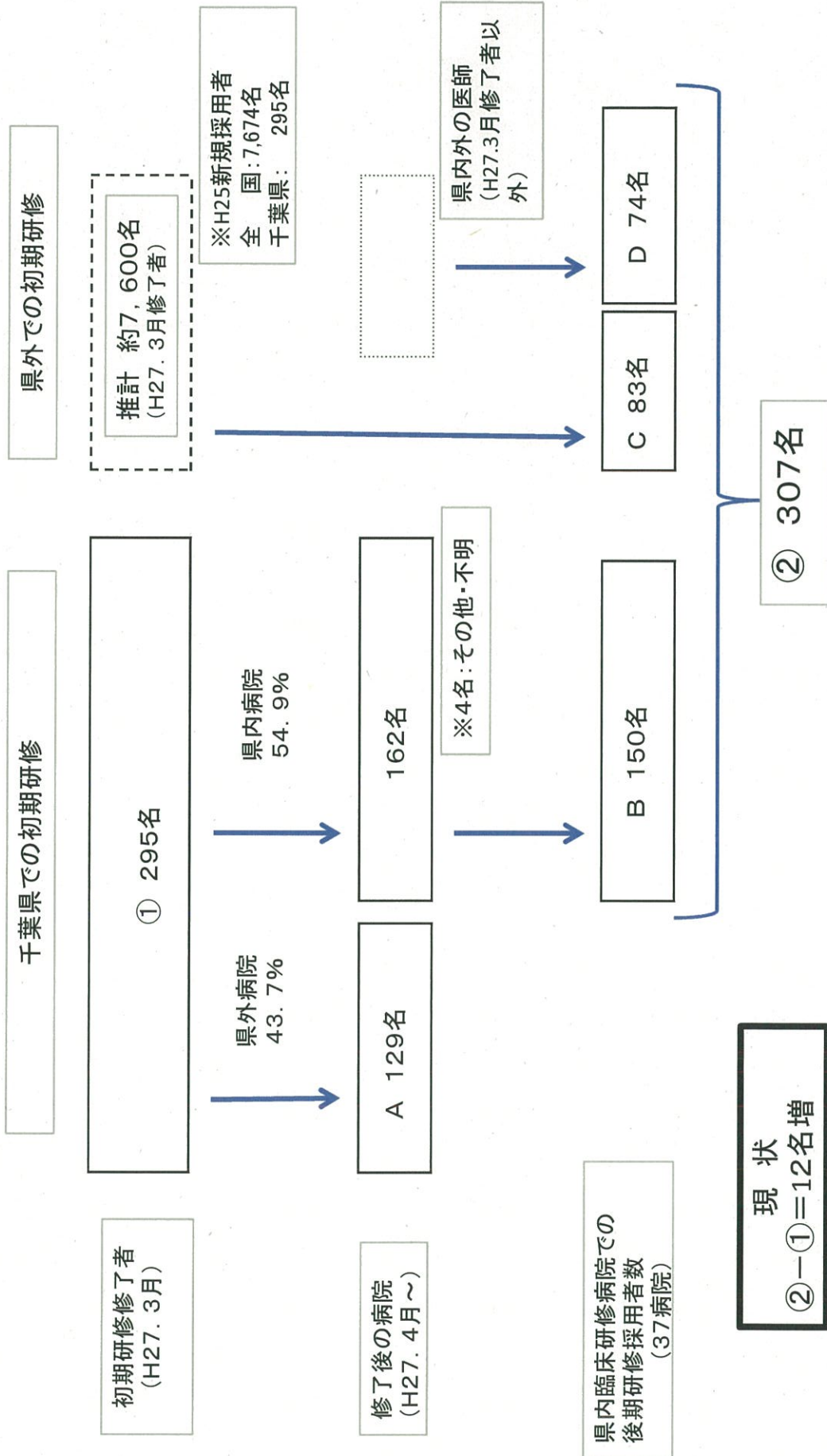
千葉県内の初期研修医採用者数は増加傾向にあり、特にH26.4からH28.4（予定）にかけて大きく増加している。



※1 各年の4月に新たに県内で初期研修を開始した医師数
※2 出典：研修医に係る実態調査の集計結果について（千葉県健康福祉部医療整備課）
※3 H28.4の402名の内訳は、H27.10のマッチャ者数399人と自治医科大学卒業予定3人

千葉県内の初期研修医・後期研修医の状況について

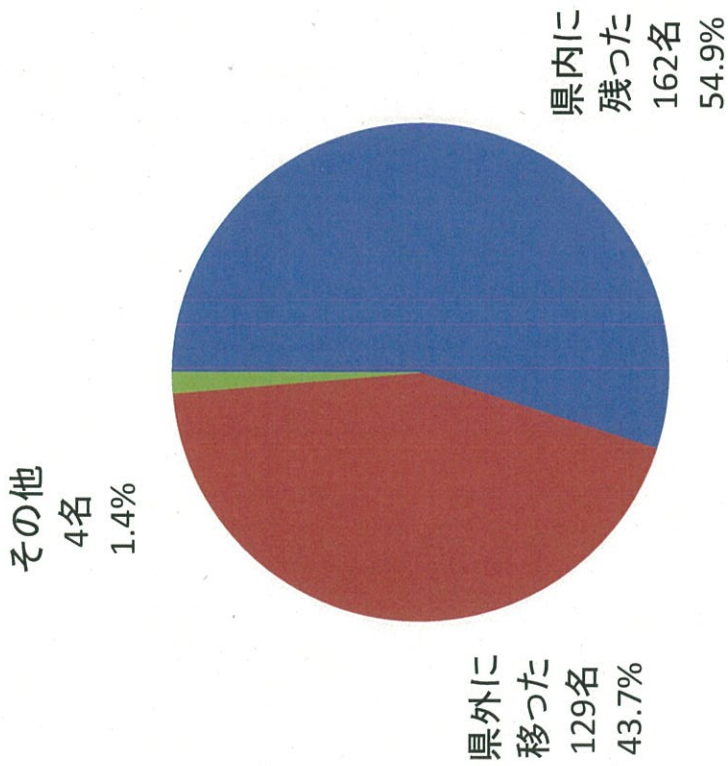
千葉県での初期研修をH27.3月に修了した295名のうち、162名(54.9%)が県内病院で勤務している。
 千葉県での初期研修をH27.3月に修了した295名①に対して、県内臨床研修病院での後期研修採用者数は307名②と、
 12名増えている。



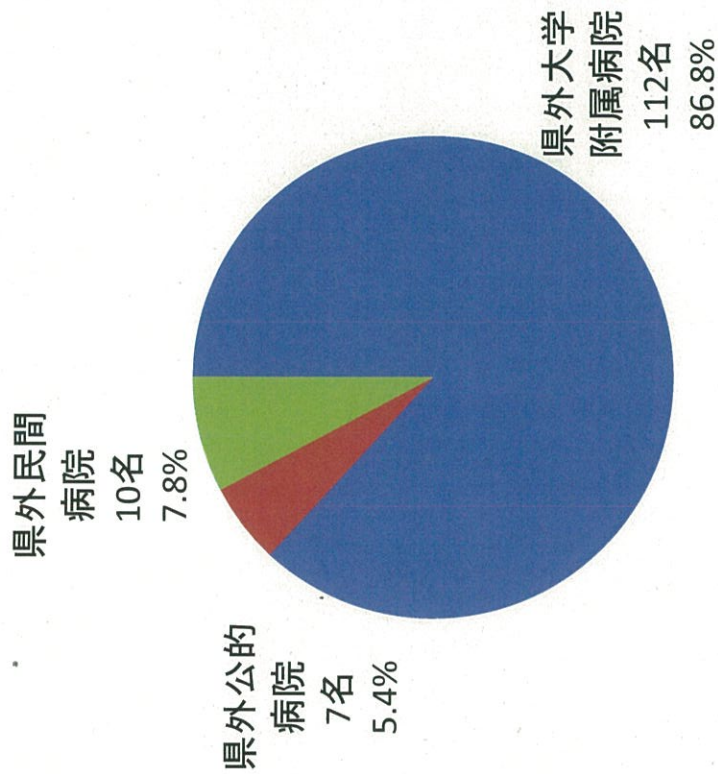
千葉県内での初期研修修了後、県外病院へ移った医師数

平成27年3月に初期研修を修了した295名のうち、129名(43.7%)が県外病院に移った。

県内病院の初期研修修了者 295名



県外に移った医師129名の県外病院の種別



千葉県内での初期研修終了後、県外病院へ移った理由

「系列の他病院に移った」が最も多く、次いで「出身大学附属病院に移った」、「移転先病院の研修プログラムの方が希望に合う」だった。

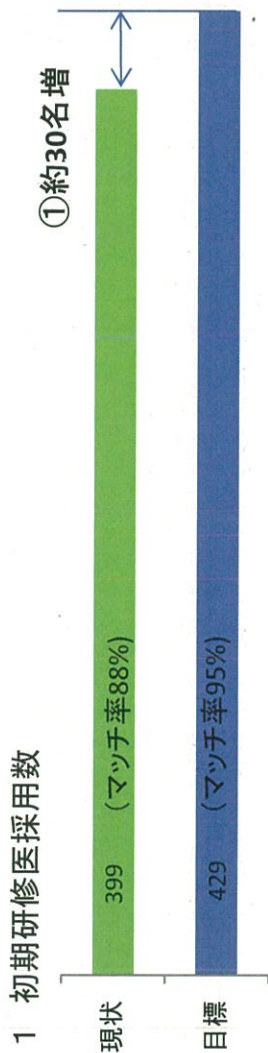
理由	回答者数(複数回答)
系列の他病院に移った	36
出身大学附属病院に移った	35
移転先病院の研修プログラムの方が希望に合う	27
他病院に移った理由は把握していない	16
希望する診療科の研修プログラムがない	9
出身地の病院に移った(大学附属病院を除く)	4
より症例の多い病院に移った	3
出身地の大学附属病院に移った	2
都会の病院で働きたい	2
勤務条件のより良い病院に移った	1
地域の病院で働きたい	1
有名な指導医がいる病院に移った	0
知り合いの医師・研修医が多いため	0
その他	5

※病院担当者が、研修医から聞き取り、結果をまとめたもの
平成27年3月、初期研修終了した129名が調査対象

医師の総数を増加させる方策について(案)

平成37年(10年後)に約1,000名の医師が不足することが見込まれる中、毎年100名程度の医師を増加させなくてはならない。医師の総数を増加させる上で、現在の取り組みで見込まれる医師の増加に加え、まずは、実態把握の可能な初期研修医並びに後期研修医への働きかけを重点的に行う。つまり、下図において、②+③>100を目指す。

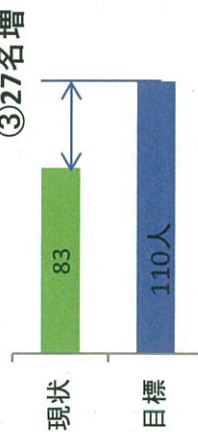
現状及び現在の施策	目標及び今後求められる施策
〈現状〉 ・マッチ率88.3% ・平成28年度マッチ者数3399名(前年度+41名) 〈施策〉 ・医師キャリアアップ・就職支援センター事業(※1)	〈目標〉 ・マッチ率の向上 95% ・マッチ者数429名(+30名) 〈施策(案)〉 ・医師修学資金制度の拡充 ・千葉県出身の医学生への働きかけ ・その他



2 県内の3年目の後期研修医採用数



3 2以外の後期研修医採用数



現状及び現在の施策	目標及び今後求められる施策
〈現状〉 ・県内の初期研修修了者の県内定着162名、54.9% ・県外の初期研修修了者の県内流入83名 〈施策〉 ・医師キャリアアップ・就職支援センター事業(※1)	〈目標〉 ・県内の初期研修修了者の県内定着80%(+74人) ・県外の初期研修修了者の流入促進 110名(+27人) 〈施策(案)〉 ・後期研修プログラムの充実 ・研修病院のネットワーク化 ・その他

(※1)臨床研修病院合同説明会、病院見学サポート、初期・後期研修プログラム発信、ふるさと医師登録、医療技術研修

地域偏在及び診療科偏在の改善、女性医師の就労促進に向けた方策について(案)

1 地域偏在について

現在の主な事業内容	指標(現状)	指標(目標値)(案)	今後求められる施策の方向(案)
香取海匠保健医療圏の医師確保対策事業	指導医配置数5名	初期研修修了者の県内定着率の向上	・指導医の養成・確保 ・後期研修プログラムの充実
医師不足病院医師派遣促進事業	派遣希望医師数32人	自治体病院医師数の充足	・自治体病院のニーズに応じた施策
専門医認定支援事業	7医療機関7プログラム支援(H26) 4医療機関5プログラム支援(H27)	地域医療に配慮した専門プログラムの作成	・魅力ある新たな専門医研修体制の施策

2 診療科偏在について

現在の主な事業内容	指標(現状)	指標(目標値)(案)	今後求められる施策の方向(案)
産科医等確保支援事業 産科医等育成支援事業	産婦人科・産科医師数 437人(平成24年医師等調査)	産婦人科・産科医師数の増加	・産婦人科・産科医の勤務環境改善、持続的な産婦人科・産科医の確保
院内助産所・助産師外来施設・設備整備事業	院内助産所 4病院、2診療所 (平成26年医療施設調査) 助産師外来 23病院、23診療所 (平成26年医療施設調査)	院内助産所・助産師外来施設の増加 産婦人科・産科医師数の増加	・産婦人科・産科医の勤務環境改善、持続的な産婦人科・産科医の確保
新生児医療担当医確保事業	小児科医師数 622人(平成24年医師等調査)	小児科医師数の増加	・新生児医療現場のニーズに応じた施策

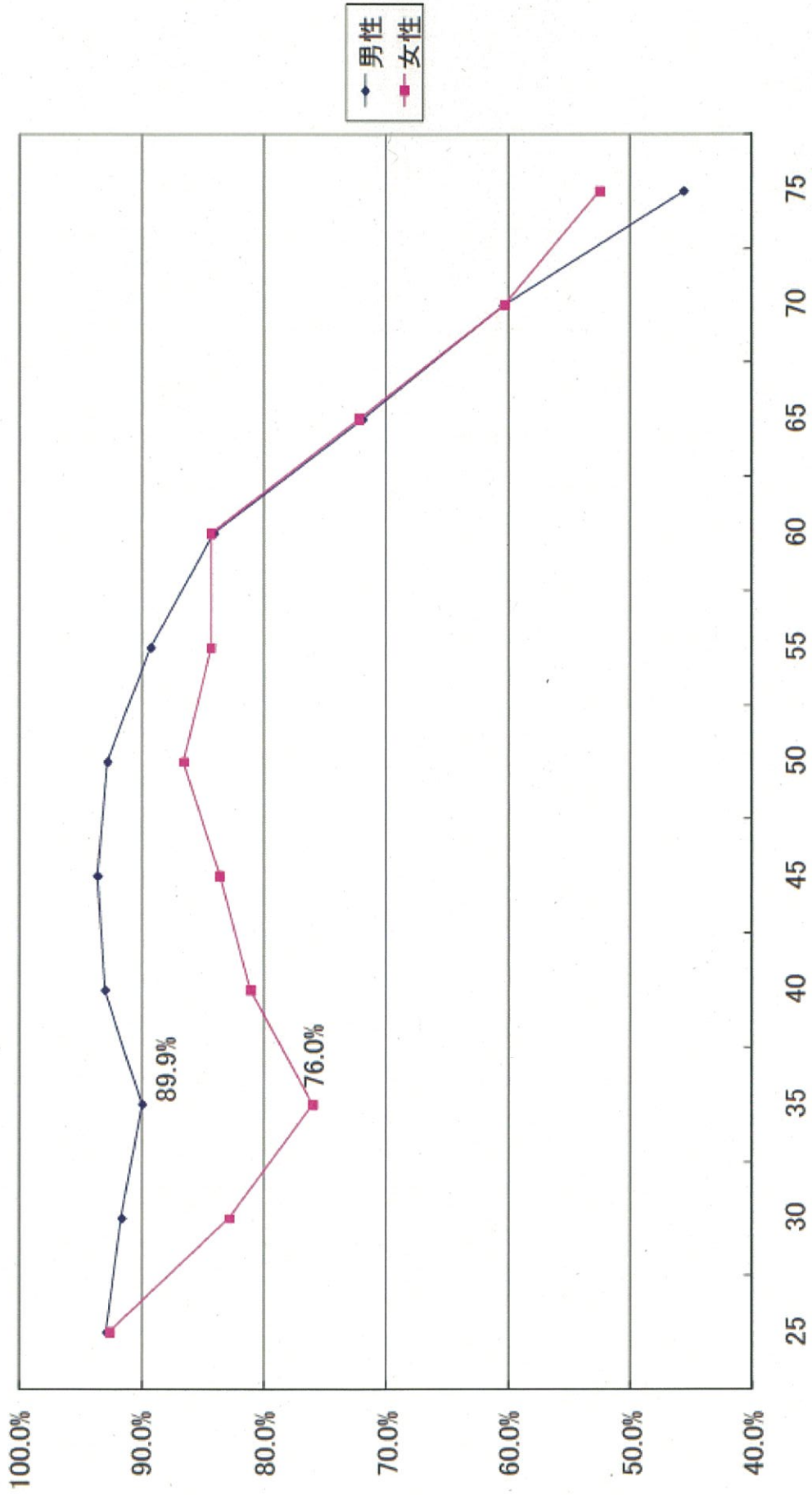
3 女性医師の就労について

現在の主な事業内容	指標(現状)	指標(目標値)(案)	今後求められる施策の方向(案)
女性医師等就労支援事業	①就業率 概ね36歳 76%(男性89.9%) ②割合 19% 25～29歳の割合 33.1%、30～34歳の割合 29.5%(平成24年医師等調査)	女性医師の就業率の向上	・仕事と家庭が両立できる職場環境づくり
院内保育所設置・運営補助事業	院内保育を実施している病院 149病院(平成26年医療施設調査)	院内保育を実施している病院の増加	・仕事と家庭が両立できる職場環境づくり

女性医師の就業率のM字カーブ

女性医師が医師として就業している率は、医学部卒業後、年が経つにつれて、減少傾向をたどり、卒業後11年（概ね36歳）で76.0%で最低となった後、再び就業率が回復していく。

男性医師と女性医師の就業率



(注) 医師が25歳で卒業すると仮定した場合の就業率
「日本の医師需給の実証的調査研究」(主任研究者 長谷川敏彦)

【参考】 医師臨床研修マッチング結果(H27年度) マッチ者数都道府県順位

マッチ者数 順位		平成27年度 (平成28年度研修開始)			平成26年度 (平成27年度研修開始)			マッチ者数増減 ①-②
		募集定員	マッチ者数①	定員充足率	募集定員	マッチ者数②	定員充足率	
1	東京都	1,455	1,355	93.1%	1,454	1,355	93.2%	0
2	神奈川県	675	606	89.8%	680	574	84.4%	32
3	大阪府	653	595	91.1%	639	594	93.0%	1
4	愛知県	564	471	83.5%	561	470	83.8%	1
5	福岡県	449	423	94.2%	450	404	89.8%	19
6	千葉県	452	399	88.3%	441	358	81.2%	41
7	兵庫県	419	361	86.2%	412	365	88.6%	△ 4
8	北海道	465	353	75.9%	456	329	72.1%	24
9	埼玉県	399	255	63.9%	400	233	58.3%	22
10	京都府	263	251	95.4%	269	257	95.5%	△ 6
11	静岡県	279	196	70.3%	275	209	76.0%	△ 13
12	岡山県	244	194	79.5%	233	159	68.2%	35
13	広島県	218	178	81.7%	210	148	70.5%	30
14	茨城県	211	155	73.5%	210	147	70.0%	8
15	沖縄県	178	155	87.1%	172	147	85.5%	8
16	長野県	176	141	80.1%	173	140	80.9%	1
17	栃木県	171	138	80.7%	170	124	72.9%	14
18	岐阜県	168	131	78.0%	164	119	72.6%	12
19	宮城県	178	127	71.3%	181	118	65.2%	9
20	三重県	150	111	74.0%	149	114	76.5%	△ 3
21	奈良県	122	110	90.2%	122	90	73.8%	20
22	熊本県	146	109	74.7%	143	107	74.8%	2
23	和歌山県	123	106	86.2%	110	84	76.4%	22
24	石川県	162	103	63.6%	177	104	58.8%	△ 1
25	新潟県	197	102	51.8%	201	93	46.3%	9
26	滋賀県	122	99	81.1%	123	92	74.8%	7
27	鹿児島県	148	99	66.9%	168	94	56.0%	5
28	愛媛県	128	97	75.8%	126	82	65.1%	15
29	福島県	159	96	60.4%	159	88	55.3%	8
30	秋田県	125	84	67.2%	123	64	52.0%	20
31	山口県	121	84	69.4%	124	65	52.4%	19
32	長崎県	150	84	56.0%	153	103	67.3%	△ 19
33	群馬県	151	83	55.0%	153	103	67.3%	△ 20
34	山形県	116	80	69.0%	117	73	62.4%	7
35	青森県	143	76	53.1%	145	89	61.4%	△ 13
36	大分県	114	73	64.0%	112	68	60.7%	5
37	富山県	111	65	58.6%	107	63	58.9%	2
38	岩手県	115	62	53.9%	108	73	67.6%	△ 11
39	高知県	98	62	63.3%	96	57	59.4%	5
40	香川県	103	61	59.2%	104	72	69.2%	△ 11
41	佐賀県	83	61	73.5%	92	52	56.5%	9
42	山梨県	91	54	59.3%	91	61	67.0%	△ 7
43	島根県	97	51	52.6%	95	54	56.8%	△ 3
44	宮崎県	96	51	53.1%	88	55	62.5%	△ 4
45	福井県	91	50	54.9%	89	53	59.6%	△ 3
46	徳島県	95	49	51.6%	101	66	65.3%	△ 17
47	鳥取県	78	41	52.6%	78	30	38.5%	11

平成27年10月時点

病院別医師臨床研修マッチング結果（平成27年度）

番号	病院名	平成27年度 (平成28年度研修開始)			平成26年度 (平成27年度研修開始)			マッチ者数増減 ①-②
		募集定員	マッチ者数①	定員充足率	募集定員	マッチ者数①	定員充足率	
1	国立病院機構千葉医療センター	9	8	88.9%	9	5	55.6%	3
2	千葉大学医学部附属病院	47	39	83.0%	54	44	81.5%	△5
3	県立病院群(がんセンター)	15	8	53.3%	17	6	35.3%	2
4	千葉市立青葉病院	7	7	100.0%	5	5	100.0%	2
5	千葉市立海浜病院	5	4	80.0%	2	2	100.0%	2
6	千葉メディカルセンター	12	10	83.3%	10	3	30.0%	7
7	千葉中央メディカルセンター	4	4	100.0%	4	4	100.0%	0
8	千葉県済生会習志野病院	10	10	100.0%	10	10	100.0%	0
9	津田沼中央総合病院	4	4	100.0%	4	4	100.0%	0
10	谷津保健病院	3	3	100.0%	2	1	50.0%	2
11	東京女子医大八千代医療センター	12	12	100.0%	12	11	91.7%	1
12	船橋市立医療センター	12	12	100.0%	12	12	100.0%	0
13	千葉徳洲会病院	4	1	25.0%	5	0	0.0%	1
14	船橋二和病院	6	2	33.3%	6	3	50.0%	△1
15	国立国際医療センター国府台病院	12	12	100.0%	12	12	100.0%	0
16	東京歯科大学市川総合病院	8	8	100.0%	8	8	100.0%	0
17	順天堂大学医学部附属浦安病院	39	37	94.9%	38	36	94.7%	1
18	船橋中央病院	3	1	33.3%	3	1	33.3%	0
19	東京ベイ・浦安市川医療センター	6	6	100.0%	6	6	100.0%	0
20	医療法人財団明理会行徳総合病院 ※1	2	0	0.0%				0
21	国保松戸市立病院	14	14	100.0%	14	14	100.0%	0
22	千葉西総合病院	12	7	58.3%	9	8	88.9%	△1
23	新東京病院	10	8	80.0%	10	9	90.0%	△1
24	新松戸中央総合病院	6	3	50.0%	6	5	83.3%	△2
25	名戸ヶ谷病院	8	8	100.0%	8	6	75.0%	2
26	東京慈恵会医科大学附属柏病院	32	31	96.9%	28	24	85.7%	7
27	東葛病院	8	4	50.0%	8	2	25.0%	2
28	小張総合病院	7	7	100.0%	7	5	71.4%	2
29	成田赤十字病院	14	14	100.0%	14	14	100.0%	0
30	聖隷佐倉市民病院	3	2	66.7%	2	1	50.0%	1
31	東邦大学医療センター佐倉病院	24	20	83.3%	24	9	37.5%	11
32	日本医科大学千葉北総病院	12	12	100.0%	10	10	100.0%	2
33	国保旭中央病院	30	30	100.0%	30	28	93.3%	2
34	亀田総合病院	24	24	100.0%	22	22	100.0%	2
35	君津中央病院	13	13	100.0%	13	13	100.0%	0
36	千葉労災病院	8	8	100.0%	8	8	100.0%	0
37	帝京大学医ちば総合医療センター	7	6	85.7%	7	7	100.0%	△1
	国立病院機構千葉東病院 ※2				2	0	0.0%	0
	計	452	399	88.3%	441	358	81.2%	41

※1 平成27年8月27日開催の医道審議会医師分科会医師臨床研修部会で指定が適当とされた病院
 ※2 平成27年8月27日開催の医道審議会医師分科会医師臨床研修部会で指定が取消された病院

平成27年10月時点



Let's チャレンジ!

2016 研修医OSCE大会 Chiba OSCE Festa

目的

- 臨床研修病院で研修医として1年間研鑽した臨床技術を客観的に評価し、2年目の研修目標を明確にする
- 研修医同士で協力し合いチームで課題に取り組むことにより、研修医同士の交流を高め、臨床研修病院間の情報交換を図る

内容

- 研修医に必須の臨床技術4ステーションをローテーションしながら、各臨床研修病院の指導医が評価者となって、評価表による評価を行う
- ステーションごとにMVP賞1名と最優秀チーム1チームを表彰する

実施方法

- 他病院混合の合同チームを3名単位で編成(チーム単位でローテーション)
- 1ステーションあたり10回実施(15分×10回=150分:2時間30分)

Advancedバージョン
(ステーション)

臨床推論 外科手技
画像診断 救命処置

日時

2016年3月21日(月・祝) 13:00-18:00

場所

千葉県医師キャリアアップセンター
(千葉大学クリニカル・スキルズ・センター内)

千葉県PRマスコットキャラクター
チーバくん



申込締切(先着順) ▶ 2016年1月21日(木)

下記のURLよりお申し込みください

<https://www.dcs-net.org>

スマホからもお申し込みできます



評価者

10名募集

研修医が参加する千葉県内の
臨床研修病院の指導医

1年目初期研修医

30名募集

臨床研修病院の研修医であれば、
県内外は問いません
参加費無料

お問い合わせ先

NPO法人 千葉医師研修支援ネットワーク事務局
TEL: 043-222-2005 FAX: 043-222-2733 E-Mail: office@dcs-net.org

共催

千葉県、NPO法人千葉医師研修支援ネットワーク、千葉大学医学部附属病院

千葉県許諾第A305-8号